



秦莊中学校 学校通信

至誠

スローガン

「笑顔いっぱい、ともに学び、
ともに伸びる学校」

令和5年(2023年)

11月20日 第7号

発行者 久保田重幸

保護者・地域の皆さまへ

生徒会役員演説会と民主主義

本校では、11月10日に、次期生徒会役員を決めるための演説会と投開票が実施され、会長1名、副会長3名がそれぞれ決定しました。特に今年度の選挙（信任投票を含む）では、会長選挙に4名の立候補者が、副会長選挙に6名の立候補者がそれぞれ出で立ち、近年にない激しい選挙戦が繰り広げられました。

私は、演説会で、立候補者の演説を聞かせてもらいましたが、どの演説もとても素晴らしい内容でした。立候補者の演説内容の一部を、以下に記します。

○私が生徒会長になってしたいことは、朝、委員会ごとにわかれてあいさつ運動をしたり、全校で楽しめる行事をしていきたいと思っています○副会長をして頑張りたいことは、いじめがなく、みんなが笑顔で過ごせる学校にすることです○この学校の課題を一から潰していく必要があります。例えば、一人ひとりがヘルメットをかぶる。そのために、生活委員と執行部で協力し何らかの取り組みを行う○私の目指す学校の姿についてですが、一人ひとりの違いを認め、みんなが頑張ることができる学校にしたいです○立候補する上での目標があります。それは、秦莊中を「よりよい、生徒全員がチャレンジできる学校」にアップグレードさせることです○この学校の皆さんが楽しいと思える学校をつくりたいと思っています。そこで一つ提案しようと思います。それは、各クラスにオピニオンポケット的なものを置くことです。僕のつくりたいと思ってる学校をつくるには皆さんの意見が必要です○みんながもっと楽しく充実して過ごせる秦莊中学校にしたい○先生や生徒会の意見だけでなく、皆さんの意見を拾っていきたいと思っています○学校行事などがもっと楽しくなるように、みなさんの声を聞いて、もっと楽しくなるような取り組みをしていきたい○まわりの人たちのちょっとした思いや言いにくい意見を先生に伝えたり、みんなで考えていく機会をつくれるような「パイプ役」として役に立ちたいという思いは人一倍あります。

私は、上記の演説を聞いて、どの立候補者からも「秦莊中学校をもっとよくしたい」との意欲を感じることができ、頼もしく感じました。さらに、立候補者の多くが望んでいた共通のテーマとして「みんなの意見を学校行事や生活にかしたい」という内容も多かったように思います。立候補者の中には、自分は皆さんの「パイプ役」としてがんばりたいという意見も見られました。リーダーとしてとても素晴らしい決意であると共感しました。これを受け、私は、立候補した皆さんに次のように伝えました。

素晴らしい演説会でした。どの候補者からも「秦莊中学校をもっとよくしたい」という気持ちを感じました。これから大人になっても、その気持ちを大切にしてください。このあと当選結果が発表されますが、当選者は他の候補者の意見を含みながら、次の生徒会、学校を盛り上げていってください。

今、世界では「民主主義の危機」が叫ばれていますが、本校生徒には生徒会役員演説会・選挙での経験を生かして、これからも「主権者」として、たくましく未来社会を切り拓いていって欲しいと感じました。



本物の投票箱に投票する生徒